

動画の無料投稿ができる

You Tubeなどの出現で 中小企業も製品や技術のPRに活用へ

大阪産創館が1分動画の合同販促 10/28日から

ネットで動画の投稿が無料でできる「You Tube」が出現したことで、世界中からさまざまな動画が投稿され、人気は急上昇しています。そこで、最近では中小企業もこれをビジネスに利用し始めています。デジカメで撮った自社の製品や技術、サービスなどを、一目でわかる映像と音声を交えて紹介、企業PRに役立てています。自社のホームページにも取り込めます。映像と音声によるPRといえば、テレビCMを使う大企業しかできなかったことですが、ネット動画では中小企業でも自分で作って世界に発信することができます。そんな流れの中で、大阪産業創造館では10月28日から、市内の中小企業から募集した自社PRの1分動画をYouTubeに一斉投稿して合同販促を行います。

YouTubeとは

「YouTube」とは、2005年、米国の会社、You Tube ,inc.により提供が始まったオンラインによる動画共有サイト。オンライン動画配信サービスの先駆といわれます。2006年にグーグルに買収されましたが、You Tubeブランドのままグーグルによって提供されています。

ユーザーが、デジカメなどで撮影した動画を、自分のパソコンからWeb上に無料でアップロード（送信）して、他のユーザーと、こうした動画を互いに見て楽しむことができます。アップロードされたムービーファイルはフラッシュ形式（動画圧縮ファイルのフォーマットのひとつ）に変換され、パソコンの環境を選ばずにWebブラウザ（閲覧ソフト）で見られるようになっています。

爆発的にヒット

米国で登場直後に爆発的な人気を得、1年ほどたつとアクセス数が1日、1億を突破したといわれます。当初は自由に無制限に投稿できたため、未成年者

の閲覧にはふさわしくないものや、テレビ番組などの一部を無許可で撮影したものなどいろいろ、問題がありました。最近はかなり、監視が厳しくなり削除されるものも多くなっているということです。

動画は 10 分以内

動画ファイルをアップロードする際、つまり投稿する場合は会員登録が必要です。しかし、公開された動画は会員登録していない人も無料で見ることができます。

YouTube の動画は 10 分以内に制限されています。時間が長すぎると現実に見てもらえないこともあって現在は 1~2 分の動画が主流です。

閲覧したい動画をキーワード検索することができ、さらに会員登録していると動画に対する意見やコメントを投稿することもできます。また、You tube の動画を自社のホームページや自分のブログに取り込むこともできます。

中小企業も活用へ

こんな便利なツールが登場したのですから、先進的な企業や各種団体、また、政治家、タレント、環境省などの役所も動画を使った PR に活用しています。中小企業も同様で、写真と文字と図形では説明のむずかしかった製品や技術、サービスなどを一目でわかる動画で見せるとともに、話題性のある面白い企画作りに知恵を絞っています。

久米繊維工業（本社：東京・墨田区、資本金 3 億円）では美術館の無い高知県・黒潮町のイベントを後援、毎年 5 月に、砂浜にデザインの違う T シャツ 1000 枚以上をロープに通して「砂浜美術館 T シャツアート展」を展開、これを動画に流して注目を集めました。こうしたアイデアで全国的に有名になり、大きな宣伝効果を挙げて売り上げアップにつなげる企業が出始めています。

中小企業作の動画を集めて「おもしろ CM 選手権」

You Tube が人気を広げる中で、大阪市の中小企業支援拠点である「大阪産業創造館」(略称:大阪産創館)は、中小企業の PR 動画を一堂に集めて YouTube に掲載する「中小企業オモシロ CM 選手権」という企画を 10 月 28 日から 1 ヶ月間、実施します。

大阪市内に本社、もしくは事業所を置く中小企業から「我が社のウリを発信してください」と呼びかけ(10月21日締め切り)1分間の動画作品を募集したものを、一斉に流します。商品、サービスに限らず、社長の経営姿勢の紹介や社員たちのガッツを見せる動画もあるようです。

優秀作品も決めますが、お互いのアクセス数アップにつなげ、多くの人に PR

動画を見てもらおうという合同販促の性格が強い企画です。

自分で動画を撮ってアップロードする方法

動画をパソコンのネットに投稿する方法は概略、以下ようになります。

まず、デジカメなどで自社の新製品等を音声入りで動画撮影し、メモリーを自分のパソコンに差し込みます。

Google の画面を開くと、「You Tube」という文字があり、これをクリックすると「You Tube」の画面が出てきます。右上に「動画をアップロードする」というボタン（文字）があり、クリックすると、「アカウントを作成」または、「ログイン」という画面が現れます。自社のユーザー名とパスワードを作って入力します。

「動画をアップロードする」をクリックし、開いたメニューから「動画ファイルをアップロードする」をクリック。続いて「動画のアップロード」をクリック。投稿する動画を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

アップロードのやり方を説明した動画もあります

You Tube の画面から「アップロードの仕方」をクリックすると、「意外とカンタン。デジカメ動画を You Tube にアップロード」という画面があり、これをクリックして開くと、アップロードの仕方を説明している動画が出てきます。参考にしてください。

ホームページにも取り込めます

ホームページや自分のブログに動画を取り込むには、動画につけられた URL（ひとつずつの動画に自動的に付けられる）をクリックし、「埋め込み」、「コピー」と指示通りに進むとできます。

ネット動画に関する初歩的な本には「500 円（＋税）でわかる入門ネット動画」（学習研究社刊）などがあります。You Tube とニコニコ動画活用ガイドの本で、「探す→見る→保存→編集→iPod に転送まで！」を解説しています。ただ、操作方法はしばしば、新しいやりかたに変わっていくためか、解説本は少ないようです。

ニコニコ動画は You Tube と並ぶ動画の 2 大共有サイト。動画にコメントを書き込め、コメントを通してユーザー同士がコミュニケーションできます。利用するにはユーザー登録が必要で、一般会員と有料のプレミアム会員があります。

大阪産創館や各地の商工会議所、中小企業基盤整備機構などで今後、動画製

作やビジネスに生かすセミナーが増えていきそうです。

北摂地域の中小企業が、動画制作について相談したい場合は、地域力連携拠点の北摂地域事務局である豊中商工会議所の「パソコンなんでも相談無料窓口」（原則、毎月第2、第4木曜日）で、IT 支援サポーターからアドバイスしてもらうことができます。

ケータイでも出来るようになります

この流れはケータイの世界でも起きつつあります。

中小企業ビジネス支援サイト「J-Net21」によると、TV電話CM動画システム「ちょこっとモーション」というものが紹介されています。

開発者がビジネスモデルを申請中ですが、これを活用すると、中小企業も簡単にCMを作り、公開できるようになりそうです。

いいネタが入ったから常連客に連絡したい、と寿司店の店主が考えたら、そのネタの動画をケータイで映し、ボタンひとつで事前に会員登録している常連客に「お仕事、ご苦労様。極上のネタが入りました。夜にはぜひ、ご来店ください」といった声を添えてアップロードし、客を呼び込めるものです。

この仕組みは、携帯電話のTV電話の機能を使います。TV電話は電話をかけているときに音声だけでなく、映像をリアルタイムで撮影し、動画として配信しており、その映像を記録して残すことができます。それをいつでも、誰でも、簡単に見られるようにした画期的な技術ということです。

ITの世界はどんどん、ビジネスの環境を変えてゆきます。「種は強いから生き残るのではなく、環境の変化に順応するからこそ生き残る」というダーウインの有名な言葉がありますが、言い換えると、新しいモノが登場しても臆せず、挑戦していこうとするものが生き残れる、ということになるようです。

文 (株)大阪彩都総合研究所
橋本 剛